

寒さの厳しい季節、岩の上ではノリやワカメなどの海藻が成長している様子を前回お伝えしました。一方、水中では別の生き物たちがうごめいています。それはプランクトンです。先日、プランクトンネットで海水をこしとり、顕微鏡で拡大

した様子が写真1です。細長くケムシのような毛(トゲ)をたくさんつけているのは、植物プランクトンのツノケイソウの仲間です。細長く見えているのはたくさんの細胞がつながっているからで、一つ一つの細胞は円筒形で、その幅は0.01mmほどです(写真2)。他には、ハシゴケイソウの仲間(写真3)やコアミケイソウの仲間(写真4)などの植物プランクトンが見つかり、それらを食べる動物プランクトンのコペポータ(ヒゲミジンコの仲間など)(写真5)も見つかりました。これから春先きに向け、水中ではどんどんプランクトンの量が増え、それを食べる動物たちのドラマが始まろうとしています。



写真1



写真2



写真3

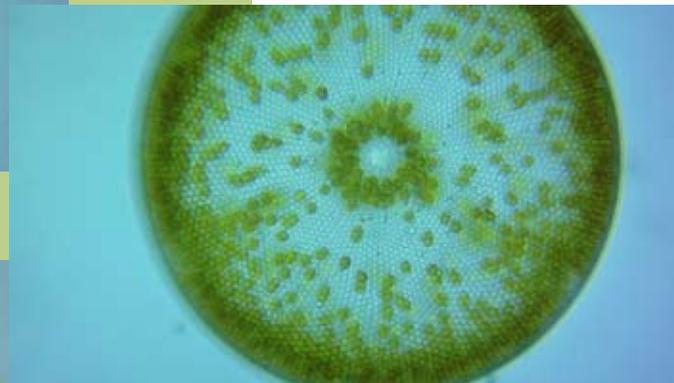


写真4



写真5

